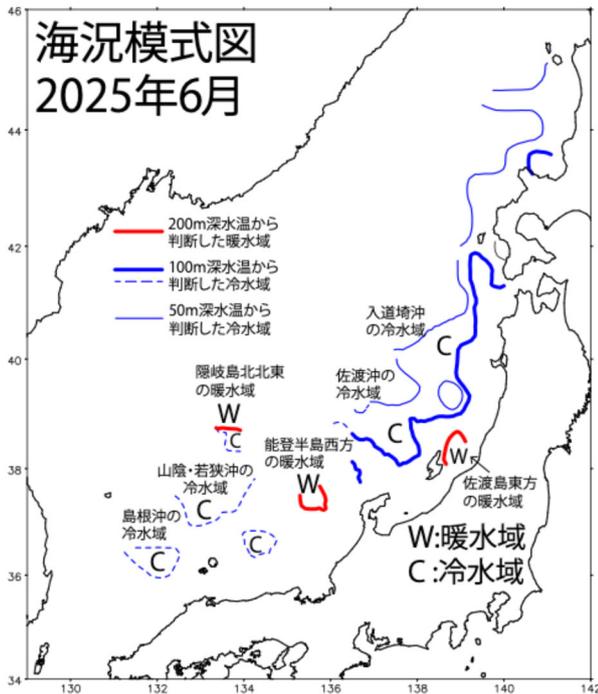




2025年度 第2回 日本海海況予報

— 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所がとりまとめた結果 —

今後の見通し(2025年7月中旬～9月)のポイント



(註)用語の定義は以下のとおり。

“はなはだ”：出現確率約22年に1回、“かなり”：出現確率約7年に1回
“やや”：出現確率約3年に1回、“平常並み”：出現確率約2年に1回

- 隠岐島北北東の暖水域は停滞する。能登半島西方の暖水域は弱体化し消滅する。隠岐島東方、若狭湾沖に暖水域が出現する。能登半島北東端に暖水域が出現する。佐渡島東方の暖水域は停滞する。
- 島根沖の冷水域は、規模・接岸距離ともに平常並みで経過する。山陰・若狭沖の冷水域はやや小さくやや離岸で経過する。佐渡島沖の冷水域は規模・接岸距離ともに平常並みで経過する。入道埼沖の冷水域は規模・接岸距離ともに平常並みで経過する。
- 対馬暖流域の表面水温は、“平常並み”で経過する。
- 対馬暖流域の水深50m水温は、日本海西部及び北部ともに“平常並み”で経過する。

問い合わせ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構

担当：海洋環境部(新潟) 奥西、永井

電話：025-228-0451、ファックス：025-224-0950

当資料のホームページ掲載先URL

<https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/>

2025年度 第2回 日本海海況予報

1. 今後の見通し（2025年7月中旬～9月）

- (1) 隠岐島北北東の暖水域は停滞する。能登半島西方の暖水域は弱体化し消滅する。隠岐島東方、若狭湾沖に暖水域が出現する。能登半島北東端に暖水域が出現する。佐渡島東方の暖水域は停滞する。
- (2) 島根沖の冷水域は、規模・接岸距離ともに平年並みで経過する。山陰・若狭沖の冷水域はやや小さくやや離岸で経過する。佐渡島沖の冷水域は規模・接岸距離ともに平年並みで経過する。入道埼沖の冷水域は規模・接岸距離ともに平年並みで経過する。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“平年並み”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の水深50 m水温は、日本海西部及び北部ともに“平年並み”で経過する。

2. 経過（(1)は2025年3月～6月、(2)～(3)は2025年3月～5月、(4)は2025年6月）

- (1) 3月に但馬沿岸に分布した暖水域は東進し、4月に若狭湾に分布、5月に北東進し能登半島西方に分布、6月にやや西進し能登半島西方に分布。3月に隠岐島北北東に分布した暖水域は、4月には欠測のため不明だが消滅していた可能性が高いと考えられる。3月に能登半島西方に分布した暖水域は、4月に能登半島北方に東進した後に消滅。3月に能登半島北東端に分布した暖水域は、4月には停滞し、5月には能登半島北東端～佐渡島東方にかけて分布域を拡大、6月には能登半島北東端の暖水域は消滅し佐渡島東方のみが残留する。3月に山形沿岸に分布した暖水域は、4月に消滅。4月に鳥取～但馬沿岸で暖水域が出現し、5月に消滅。5月に隠岐島北東に暖水域が出現、6月には東進し能登半島西方の暖水域と合体。5月に能登半島北西に暖水域が出現、6月に消滅する。6月に隠岐島北北東に暖水域が出現。
- (2) 島根沖の冷水域は、3月はやや小さくやや離岸、4月はやや小さく接岸距離は平年並み、5月は規模・接岸距離ともに平年並み。山陰・若狭沖の冷水域は、3月はやや小さく接岸距離は平年並み、4月は規模・接岸距離ともに平年並み、5月には規模は平年並みでやや離岸。佐渡島沖の冷水域は、3月は規模がやや小さく、接岸距離は平年並み、4・5月は規模・接岸距離ともに平年並み。入道埼沖の冷水域は、3月は規模・接岸距離ともに平年並み、4月はやや小さくかなり離岸、5月はやや小さく接岸距離は平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、3月は、島根～若狭湾西部沿岸で“かなり低め～やや低め”、若狭湾東部～能登半島西岸、新潟～山形沿岸、津軽半島西岸で“やや高め”～“かなり高め”以外はおおむね“平年並み”。4月は利尻・礼文島周辺で“はなはだ高め”、佐渡島北方、青森西方で“かなり高め”、島根～鳥取北方で“かなり低め”、それ以外は“やや低め”～“平年並み”。5月は隠岐島北方、能登半島北西で“やや低め”～“かなり低め”、それ以外は“平年並み”。
- (4) 対馬暖流域の水深50 m水温は、西部は“平年並み”、北部は“やや高め”。

3. 現況（2025年6月）

- (1) 暖水域は、隠岐島北北東、能登半島西方、佐渡島東方に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、規模は平年並みでやや離岸。山陰・若狭沖の冷水域は規模・接岸距離ともに平年並み。佐渡島沖の冷水域は規模・接岸距離ともに平年並み。入道埼沖の冷水域は規模・接岸距離ともに平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、北海道西岸～西方で“やや高め”～“はなはだ高め”、山口北方、隠岐島周辺、能登半島西方～北方、青森～渡島半島西方で“平年並み”、以外は、“はなはだ低め”～“平年並み”。
- (4) 対馬暖流域の水深50 m水温は、西部、北部ともに“平年並み”。

(註) この海況予報は、国立研究開発法人水産研究・教育機構により開発され、2022年3月より運用を開始した FRA-ROMS II システムを主に用いて実施し、気象庁による北陸地方の気温の3か月予報（7月～9月）も参考にした。引用符（“ ”）で囲んで表した、平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり

- | | |
|--------------|-------------------------------|
| “はなはだ高め（低め）” | : 22年以上に1回の出現確率である2℃程度の高さ（低さ） |
| “かなり高め（低め）” | : 7年に1回の出現確率である1.5℃程度の高さ（低さ） |
| “やや高め（低め）” | : 3年に1回の出現確率である1℃程度の高さ（低さ） |
| “平年並み” | : 2年に1回の出現確率で、平年値±0.5℃程度の水温 |

参 画 機 関

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 中央水産試験場	福井県水産試験場
地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	京都府農林水産技術センター 海洋センター
秋田県水産振興センター	兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター
山形県水産研究所	鳥取県水産試験場
新潟県水産海洋研究所	島根県水産技術センター
富山県農林水産総合技術センター 水産研究所	山口県水産研究センター
石川県水産総合センター	一般社団法人 漁業情報サービスセンター (取りまとめ機関) 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所